



国際アカデミー日本語学院 取手校

NEWSLETTER

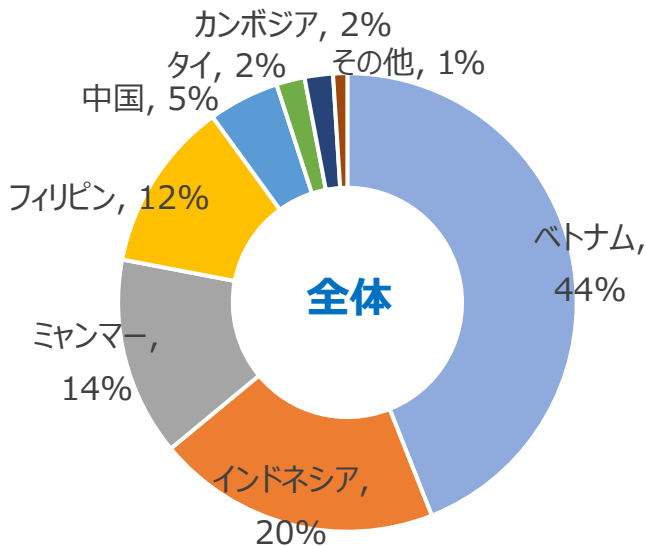
あけましておめでとうございます！新しい年が始まり、嬉しい季節がやってまいりました。皆さんにとって、心豊かで充実した一年となりますように願っております。技能実習制度における様々な変化や見直しが進行中です。これにより、不安や疑問も抱えるかもしれませんが、新しい一年に、前向きなステップを踏み出していくことに期待と希望を抱きながら、一緒に歩いていきましょう。

2023年の振り返りと実績

昨年は、新型コロナウイルス感染症の不安が依然として漂う中でのスタートでした。その後、5月には5類感染症に移行し、いつしかコロナの不安を感じることなく、マスクの着用もなくなり、生徒たちの表情を見ながらの入国後講習が可能となりました。そんな昨年も50を超える監理団体様から多くの技能実習生をお預かりしました。技能実習生自身も不安を抱えながらも、その困難を乗り越え、笑顔に満ちた表情での成長を遂げていることに、改めて感動と励ましを受けた年であったと感じます。

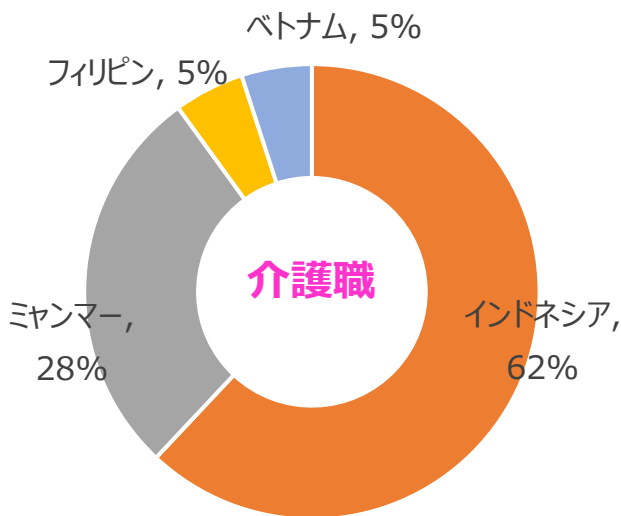
2023年の当学院での実績として、国籍割合は、ベトナムが44%、インドネシアが20%、ミャンマーが14%、フィリピンが12%、中国が5%、タイが2%、カンボジアが2%、その他バングラデシュとネパールで2%でした。ベトナムの比率が若干減少した一方で、インドネシア・ミャンマー・フィリピンからの実習生が増加しました。バングラデシュやネパールからの実習生は数年振りの受け入れとなり、さらに国際色豊かになりました。また、介護職の実習生が増加しており、インドネシアやミャンマーからの実習生が非常に増え、また男性の介護実習生も増加してきています。

国籍比率（全体）



男性	65%
女性	35%

国籍比率（介護職）



男性	10%
女性	90%

* 当学院の2023年1月から12月までの実績に基づいたデータです。

2023年の取り組み

昨年は、日本語学習や生活全般の教育に加えて、様々な取り組みや見直しを行いました。たとえば、介護職の実習生増加に対応して、別館（2号館）に新しい教室と設備を導入しました。また、建設業の特別教育の提供を開始しました。インドネシアやバングラデシュなどのイスラム教の実習生増加に備えて、お祈り部屋を設置しました。学生へのアンケート調査も実施し、安心して講習生活を送ってもらえるように取り組んでいます。今年も入国後講習の充実を目指し、いくつかの取り組みを進めております。詳細については改めてご案内いたします。

介護講習の拡充 教室と設備の新設



建設業の特別教育 フルハーネス・足場



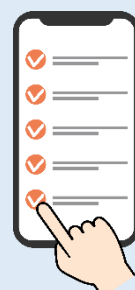
ムスリムへの配慮 お祈り部屋の設置



れいはいしつ
礼拝室

Prayer Room
Ruang Doa

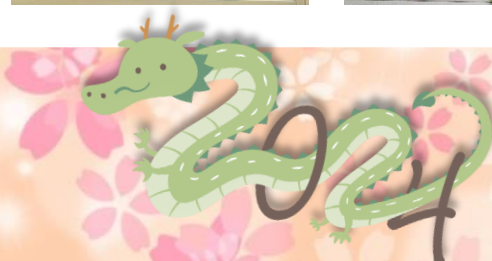
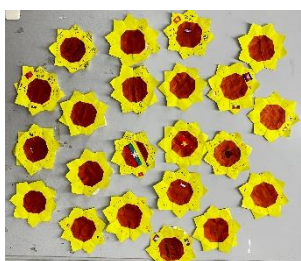
学生の満足度向上 アンケートの実施



自分の国の文化や行事、日本の生活、将来の目標などのトピックに関して日本語で発表をしました。発表を通じて、異文化理解を深めつつ、新しい環境での経験や挑戦に対する考えを共有しました。今後も異なるバックグラウンドを持つ方々とのコミュニケーションを通じて、お互いを尊重し合いながら、前向きに成長することの大切さを学びます。



豆まき、ひな祭り、七夕、クリスマスなど、季節ごとの行事や、日本特有の災害に備えた避難訓練を実施しました。



国際アカデミー日本語学院 取手校

<https://kokusai-academy.com/toride/>

〒302-0023 茨城県取手市白山3-2-29

TEL 0297-77-4455 FAX 0297-77-4456